

健康運動指導 研究助成

募集内容

健康運動指導士と健康運動実践指導者の運動指導における実践研究や、地域・職域における健康・体力づくり、問題解決のための調査研究等に対して助成を行います。

今回より、健康運動指導士又は健康運動実践指導者以外の方も応募できる「指定研究」区分を設けました。

1

「実践研究」区分

運動指導活動における検証、課題解決、人材育成等のための研究

助成金額

1研究につき

30～50万円

(15件以内)

応募資格

健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

※この区分は、大学・研究機関において研究活動を主な業務とされている方より、指導活動を主な業務とされている方を優先します。

注：上記の資格を有する者とは研究採択時(令和2年4月)から研究報告時(令和3年5月)までの間、資格を有する者をいいます。(当該期間に更新する者も含む)

2

「調査研究」区分

我が国の健康・体力づくりに貢献できる、地域・職域における健康・体力づくり推進のための研究

助成金額

1研究につき

上限100万円

(5件以内)

応募資格

健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者

注：上記の資格を有する者とは研究採択時(令和2年4月)から研究報告時(令和3年5月)までの間、資格を有する者をいいます。(当該期間に更新する者も含む)

3

「指定研究」区分

令和2年度研究課題『地域における身体活動・運動の推進に関する研究』

助成金額

1研究につき

上限250万円

(3件以内)

応募資格

以下に所属する研究者

※「学校教育法に基づく大学及び同附属試験研究機関」「国の施設等機関」「地方公共団体の附属試験研究機関」「研究を主な事業目的としている公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人及び一般社団法人」「研究を主な事業目的とする独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条の規定に基づき設立された独立行政法人」

※共同研究者又は研究協力者として健康運動指導士又は健康運動実践指導者の資格を有する者がいることが望ましい。

研究期間

令和2年5月～
令和3年3月31日

受付期間
申請書

令和元年

12月2日月～**1月14日**火

必着

スケジュール 令和2年4月初旬 選考結果通知発送

応募方法

当財団ホームページより申請書様式をダウンロードして必要事項を記入し、特定記録郵便、簡易書留等、記録の残る方法で提出してください。FAXやメールでの提出は認められません

申請書ダウンロード <http://www.health-net.or.jp/tyousa/josei/index.html>



■申請書送付先・問い合わせ先

実践研究 調査研究

採択研究課題

実践研究

採択研究課題

長期間のスタティックストレッチング実践が高齢者の心身機能に及ぼす効果
～歩行運動との比較～

中高年女性を対象とした骨盤底筋群への効果的なアプローチ方法の検討
～オンライン遠隔指導による運動指導者活動の波及効果を期待して～

オンラインシステムを用いて運動指導の検証
(地域偏差の解消への試み)

身体活動量増加に向けて人伝えの連鎖的流布を使った取り組みと成果
健康タスキを繋げよう幸せのチェーン・ウォーキング・キャンペーン

地域に根差した介護予防プログラムの創作と検証
～お遍路道完歩を目指して～

地域運動教室における骨盤底筋トレーニングプログラム開発と
導入による効果の検証
～男女の排尿トラブルの実態と骨盤底筋ダンスの有効性の考察～

ご当地体操の利活用に向けた介護予防教室修了後の自主化サークルの在り方

新感覚！！介護予防を感じさせない声を使った全身運動
「スポーツボイス」導入の効果検証

運動習慣のない高齢者の意識を変える「モビバン」エクササイズ！

非運動習慣高齢者、地域の体操教室等に参加していない高齢者の
参加意欲向上につながる体操教室に関する研究

調査研究

採択研究課題

高齢者の「ささえる」スポーツの普及促進に向けた大規模疫学研究

ファミリーペアにおける軽度認知障害に対する運動教室の効果検証

外国人居住者の生活習慣・健康意識調査と多言語による運動教室運営ツールの開発

地域在住高齢者における長期縦断調査からみた
ソーシャルキャピタルと健康状態との関係

AYA世代がんサバイバーにおける身体活動量と抑うつ傾向の関連